建築心理学演習課題

地域にかかわるデザイン

信州大学大学院 理工学系研究科 建築学専攻

これまでの成果（2014年度～）

これまでの成果

課題内容

- 旧河東線記念公園の利活用に役立つファニチャついて考える。
    - 場所や用途をふまえ、適切と思われるデザインを模索する。
    - 用いる材料は基本的に木材とする。
    - 設置期間は5年を基本とする。
- 少なくとも１人2案を提案する。
- ２回のプレゼンを通じて１案を選出する。
- 選出された案は、実際に製作され、旧河東線記念公園に設置される。

課題スケジュール

時期	内容
７月下旬	現地見学および調査@須坂市
10月	エスキス@信州大学
11月	中間審査@旧高井郡役所
12月	最終審査@旧高井郡役所
１月	図面を完成させて発注
２月	実物の確認
３月	完成品の納品

建築心理学演習

制作物発表

信州大学　修士一年　　稲垣航　上田春彦　田邊直人

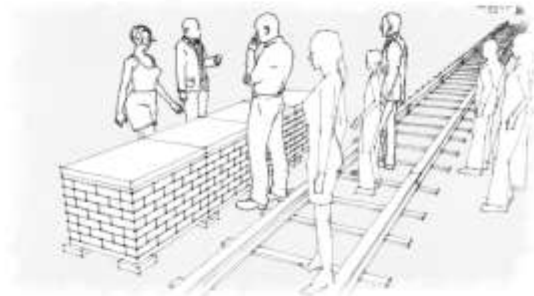
授業について

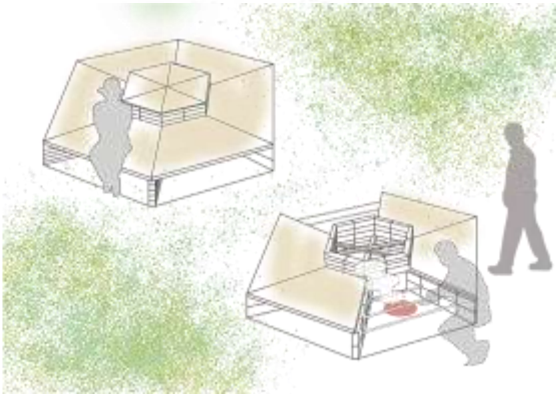
建築心理学演習

毎年、須坂市で家具を設計・制作を行っている。

授業の流れ

課題説明
↓
敷地調査
↓
複数の案を作成
↓
関係者の方々に案を発表・制作物の決定
↓
制作・設置





課題について

課題：公園に設置する家具の設計

↓

公園での活動

公園がどんな使われ方をするのか/どんなものが必要か

屋外家具のデザイン

強度は大丈夫か/安定しているか/地面との設置の仕方は

敷地について

敷地について

敷地について

現在の利用のされ方

イベント

・第3回河東線記念公園祭

・河東線記念公園 第3回青空マルシェ

日常利用

・通勤、通学の近道

・犬の散歩

https://www.city.suzaka.nagano.jp/contents/item.php?id=5d3aa0c667a8a

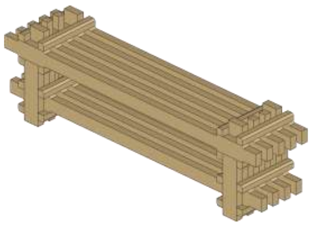
コンセプト

コンセプト：人の溜まれる場を作る

①ベンチ

休憩の場としてのベンチ

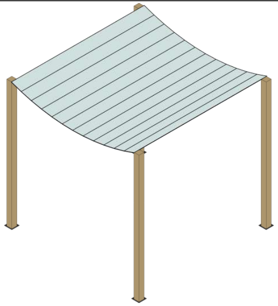
活動の場としてのベンチ



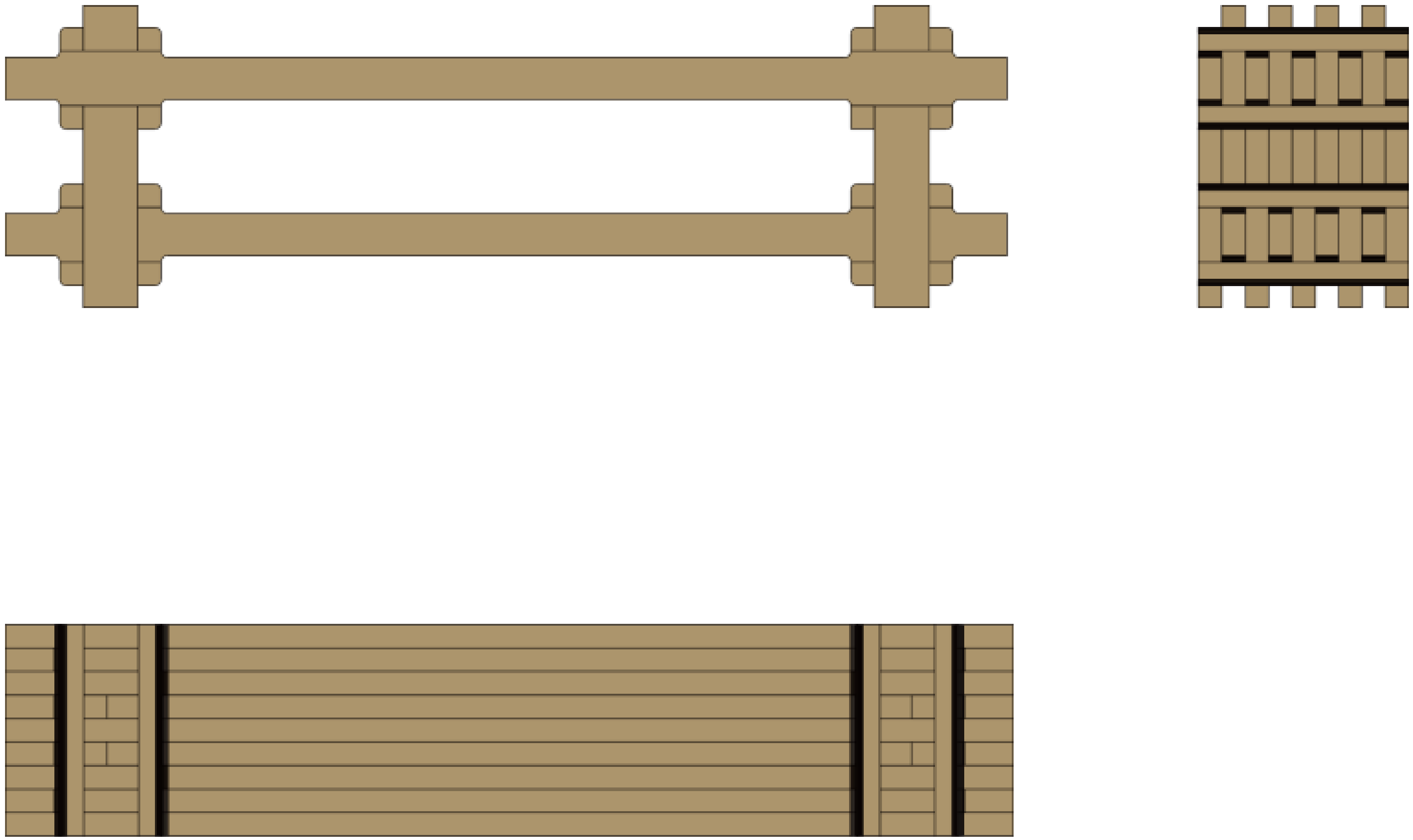
②差し込み柱

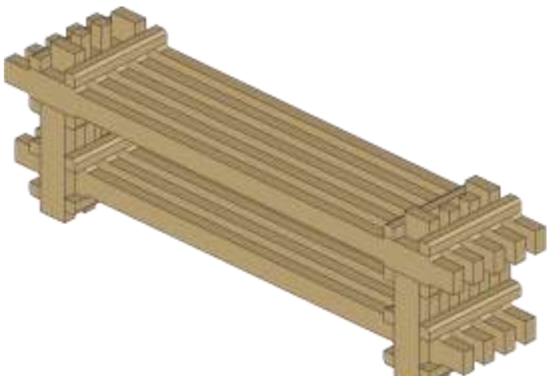
柱によるアクティビティ

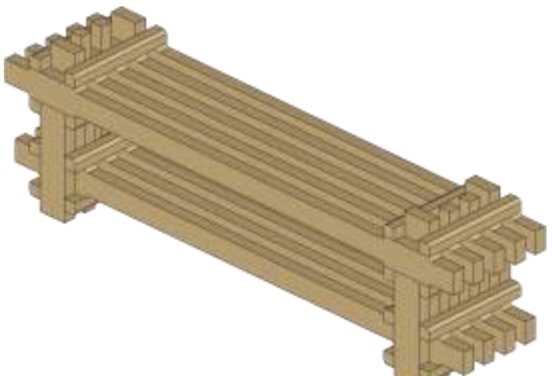
パーゴラによる場の創出

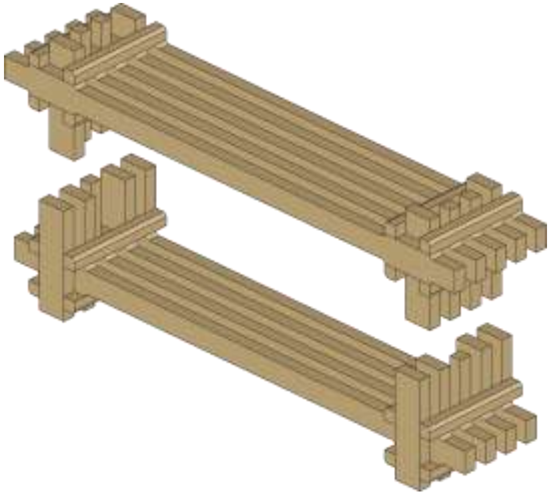


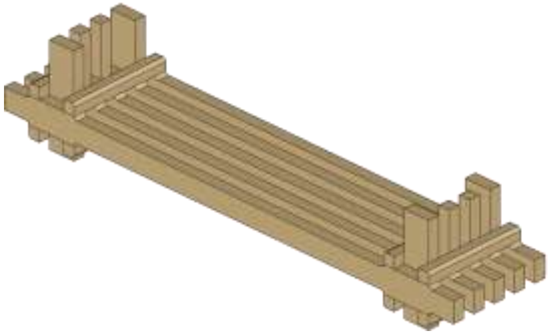
ベンチ

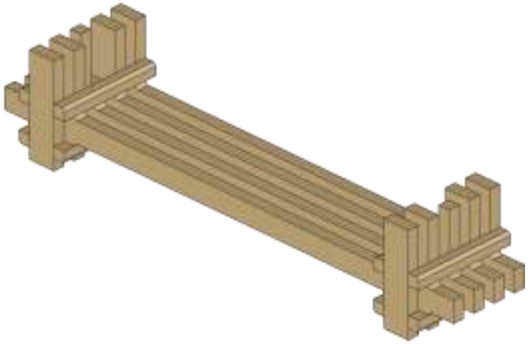


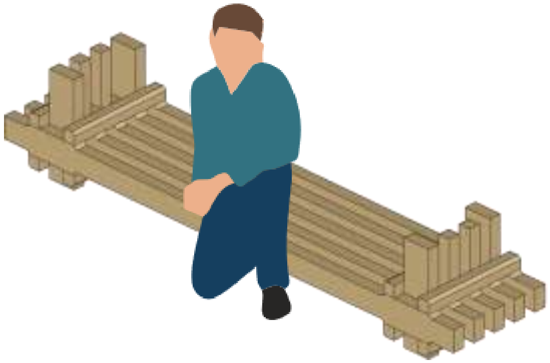


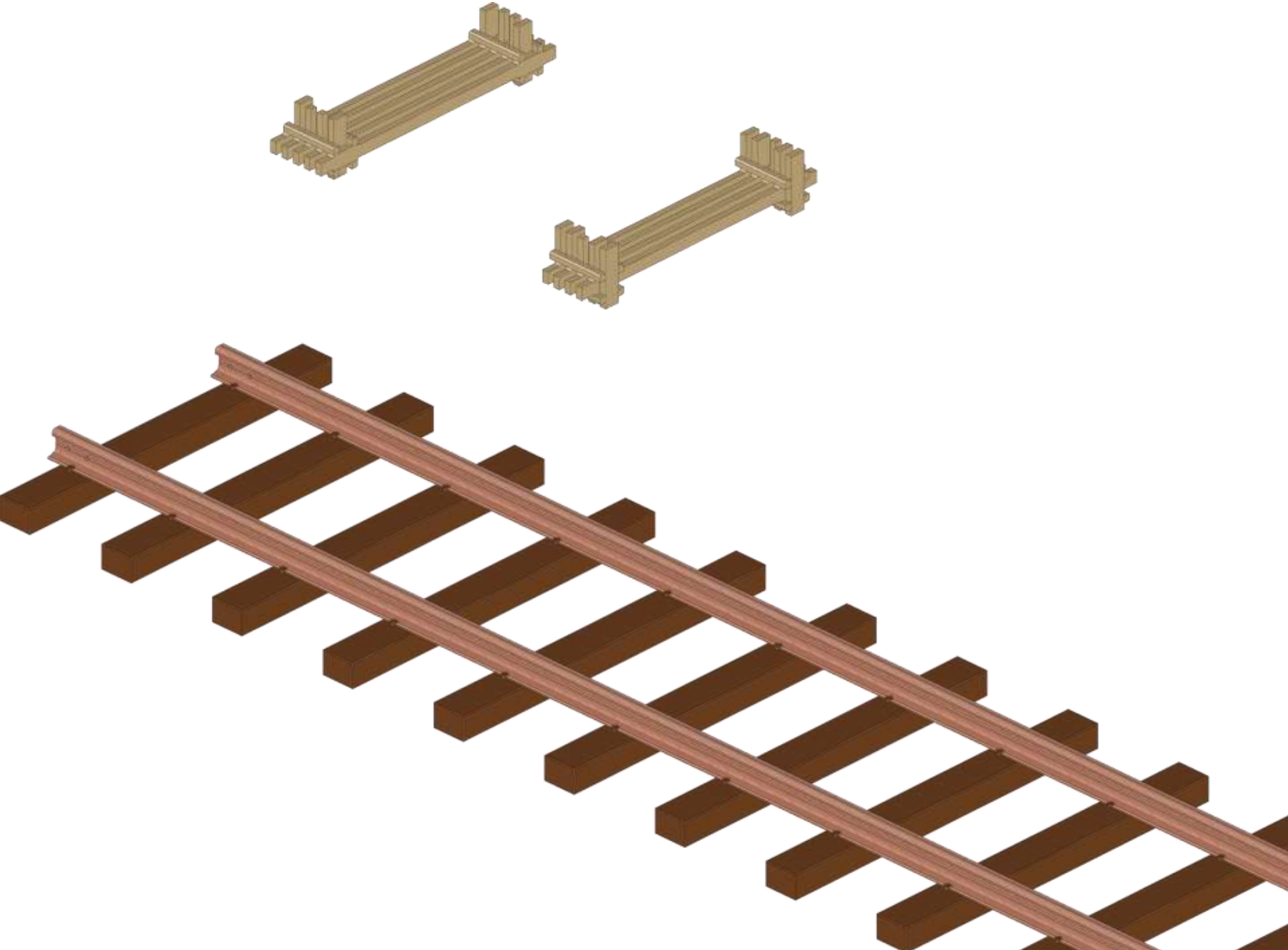


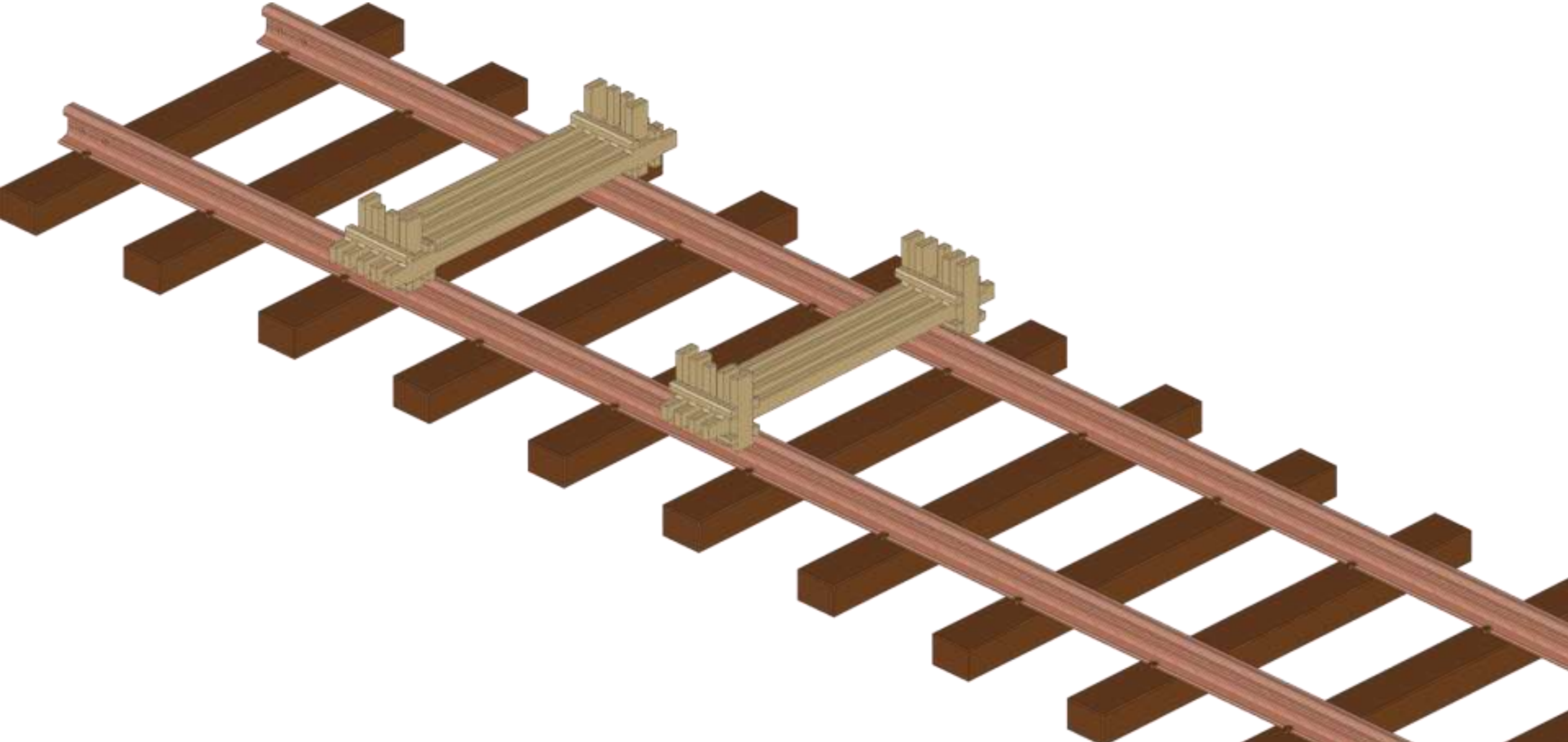


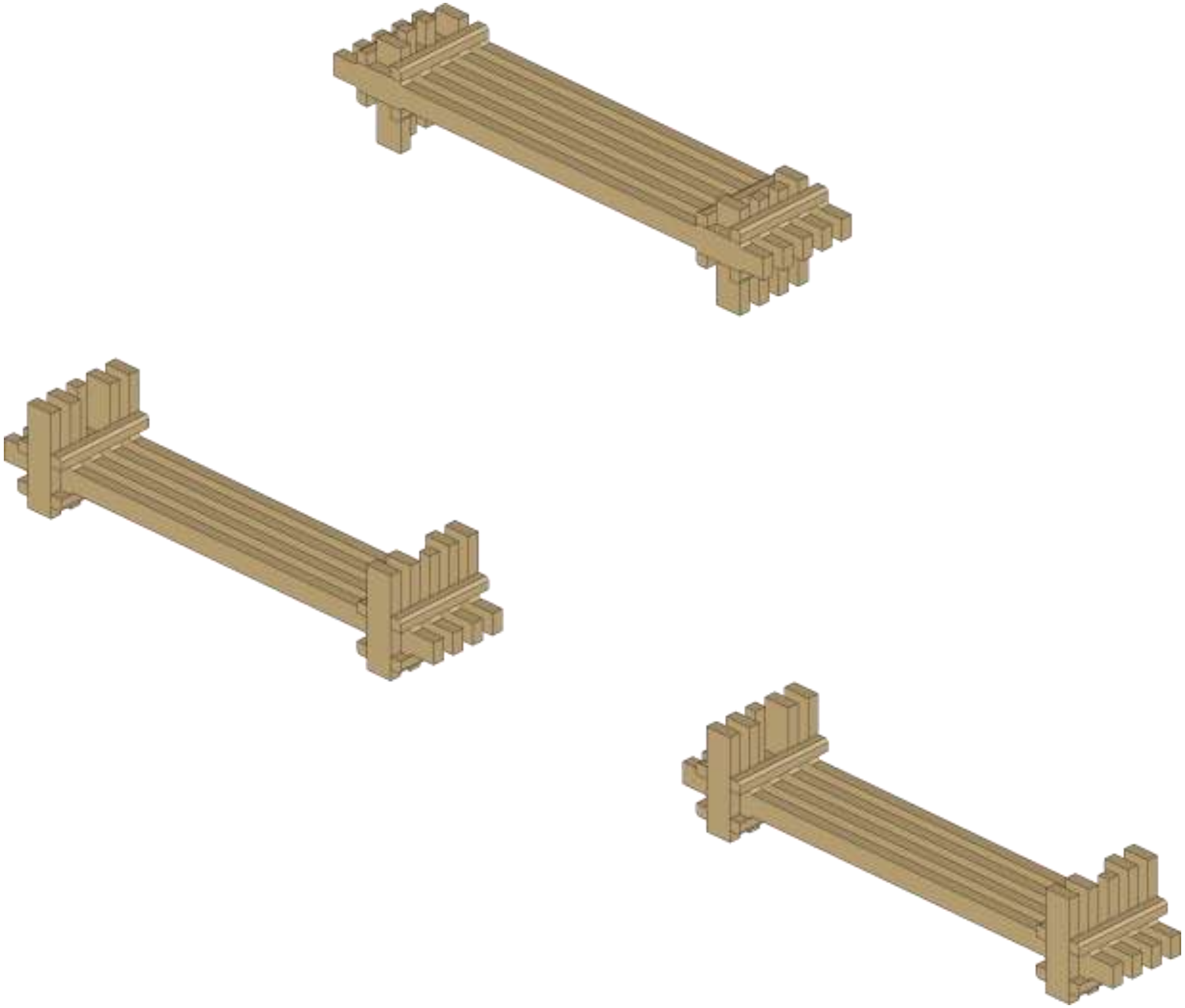


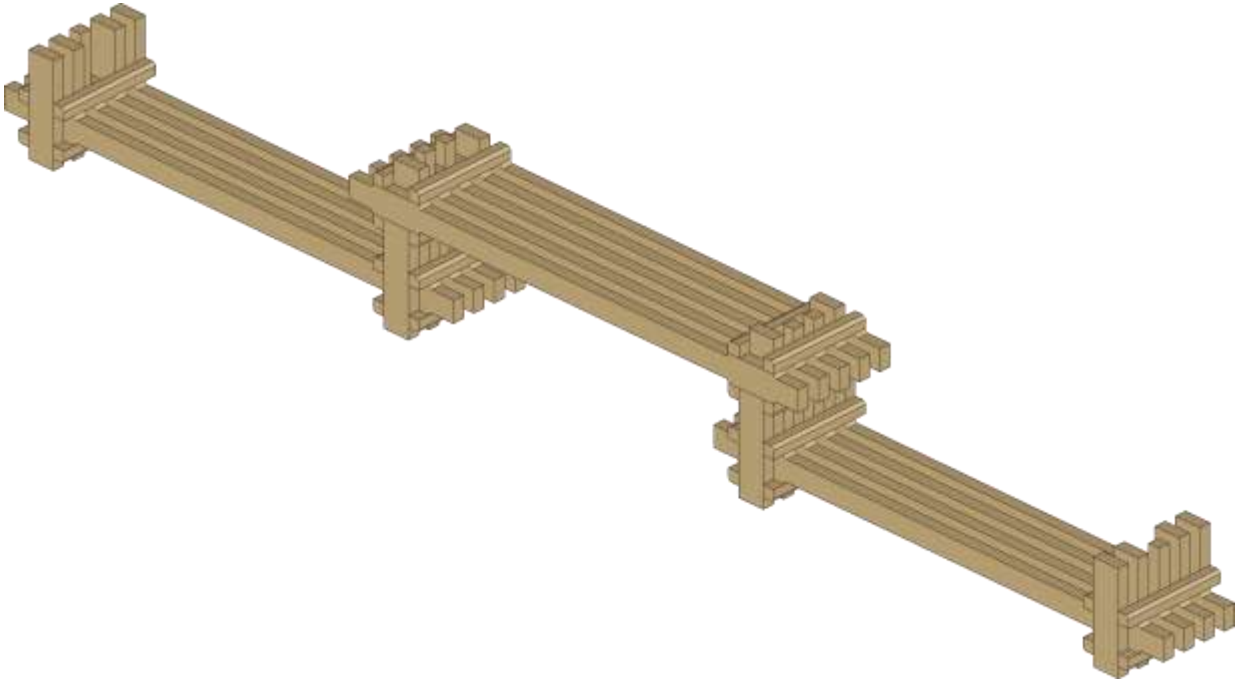


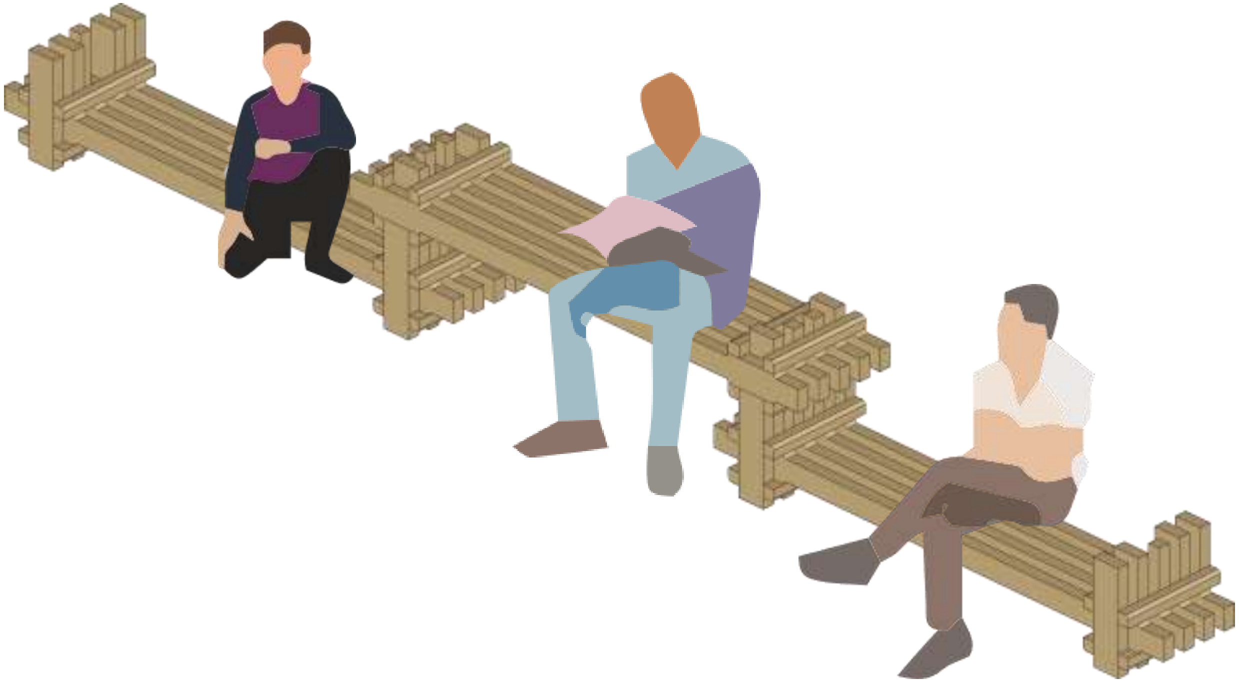


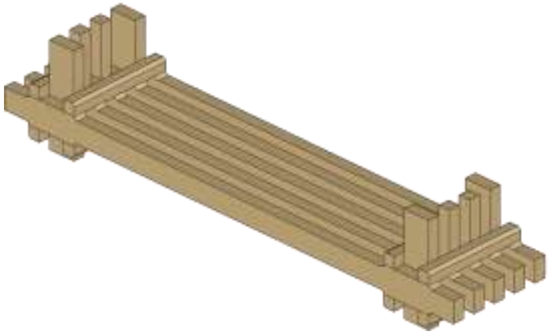


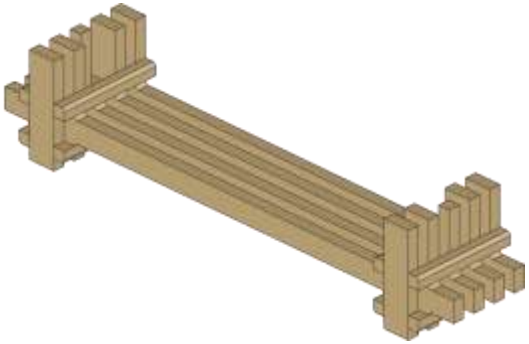


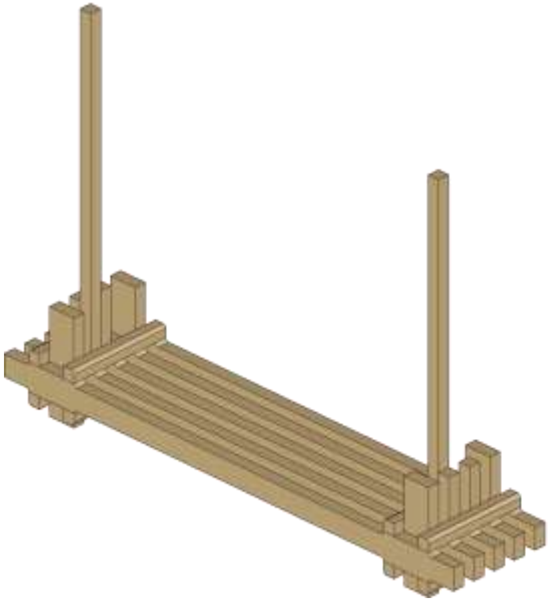


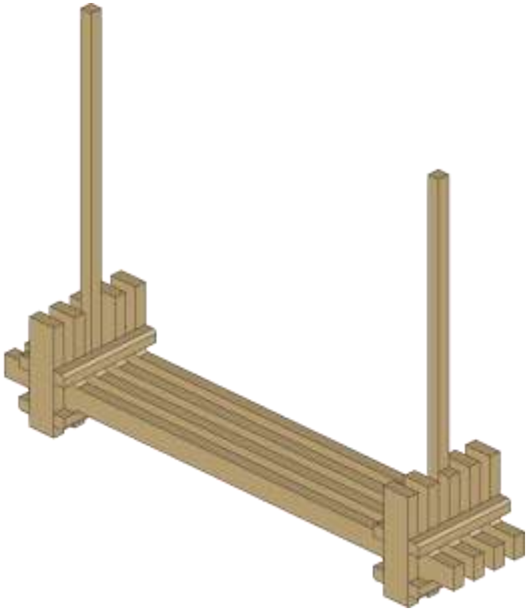


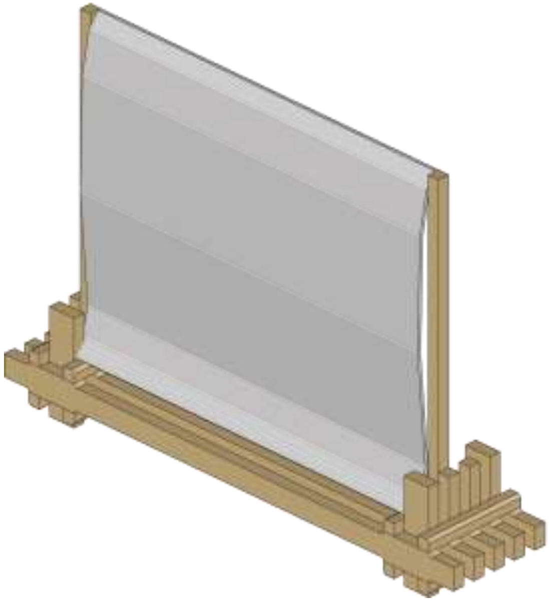


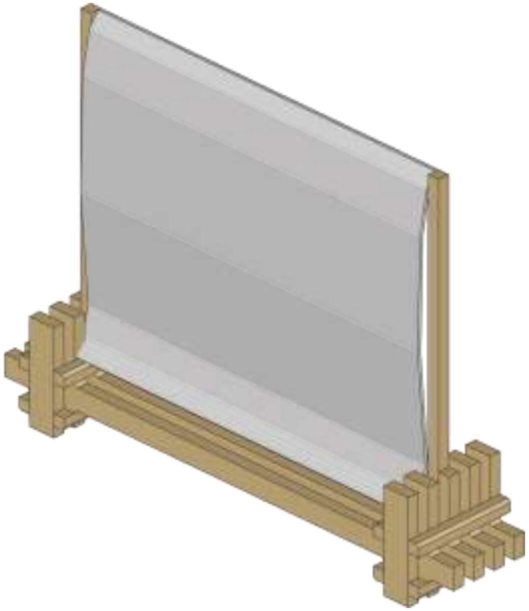


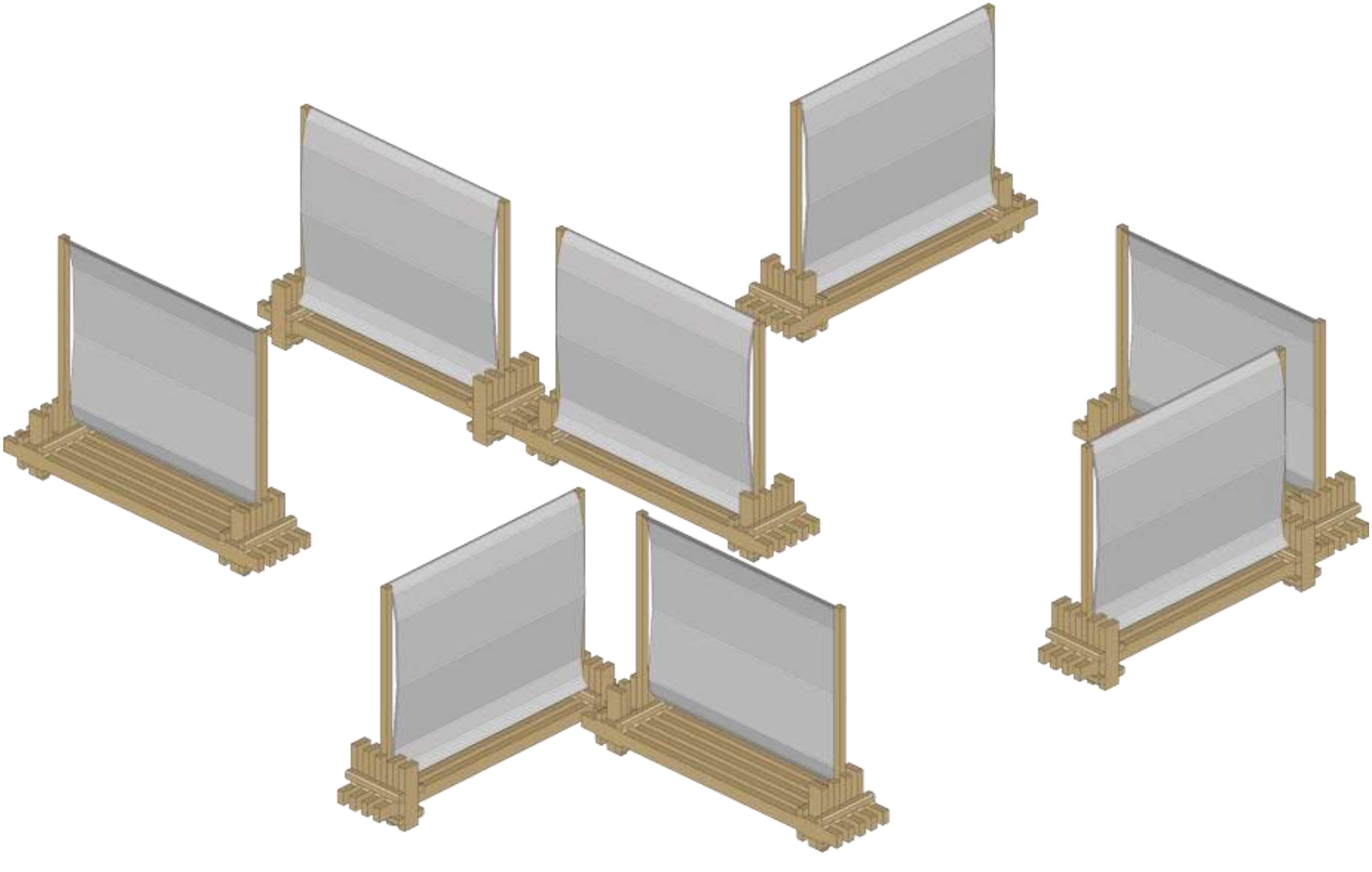


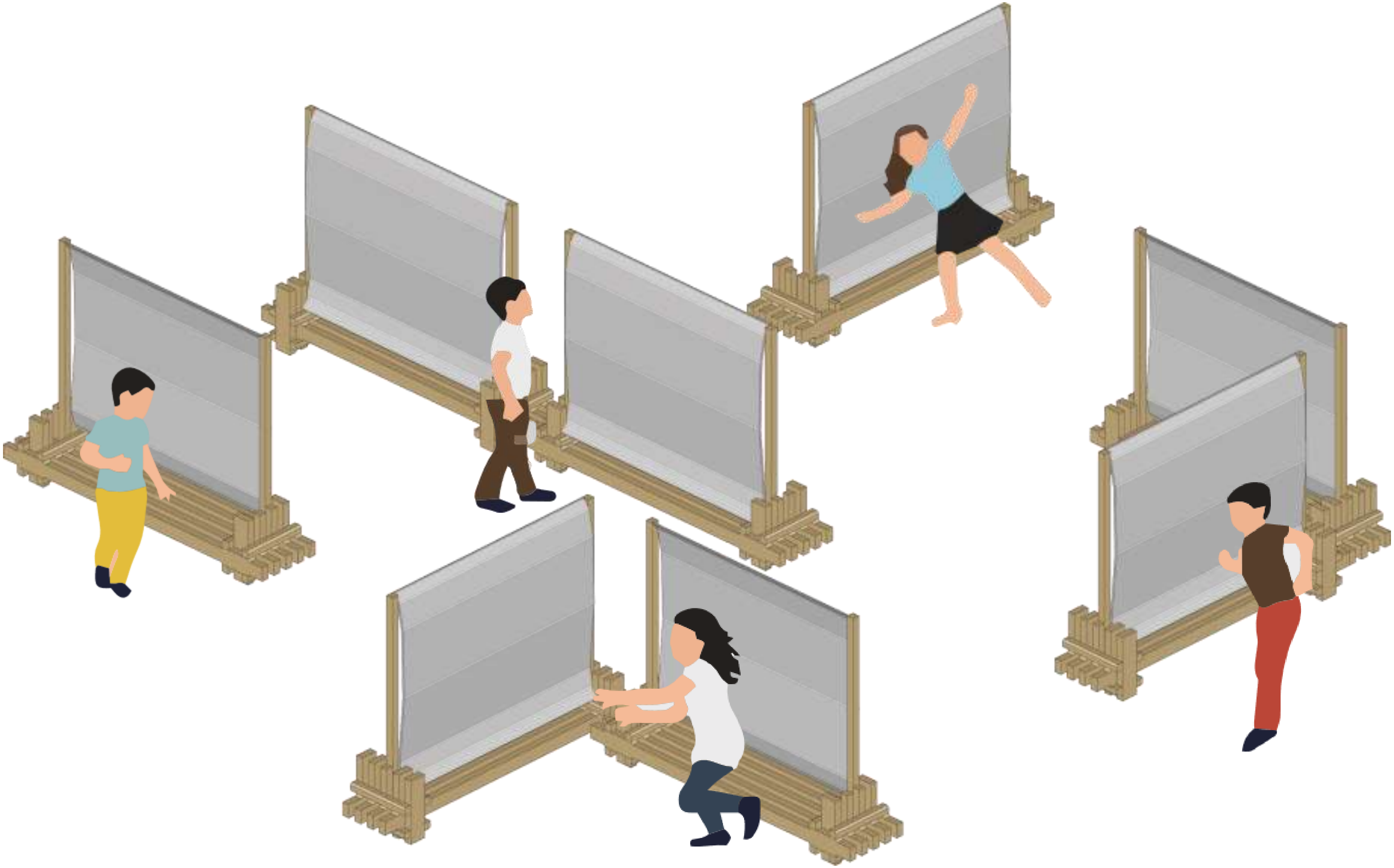




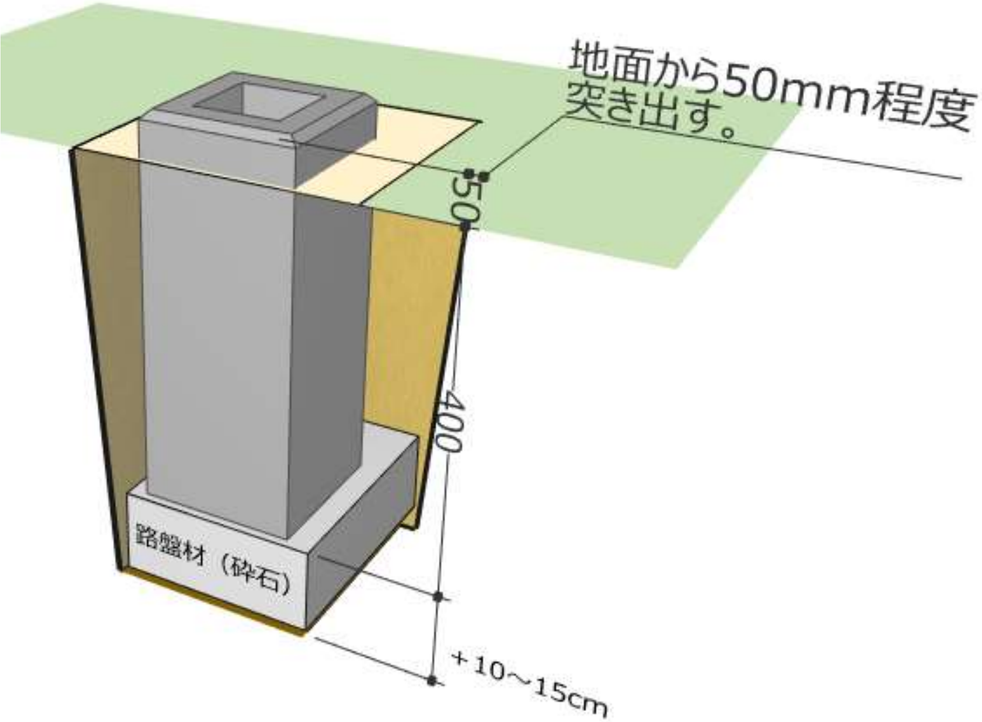




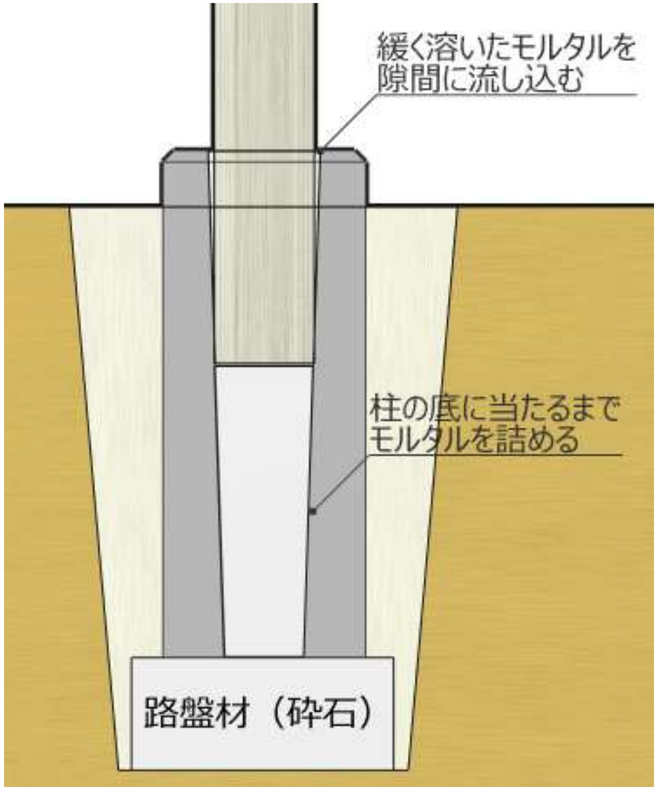




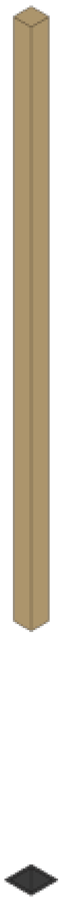
差し込み柱

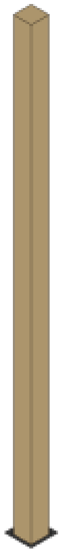


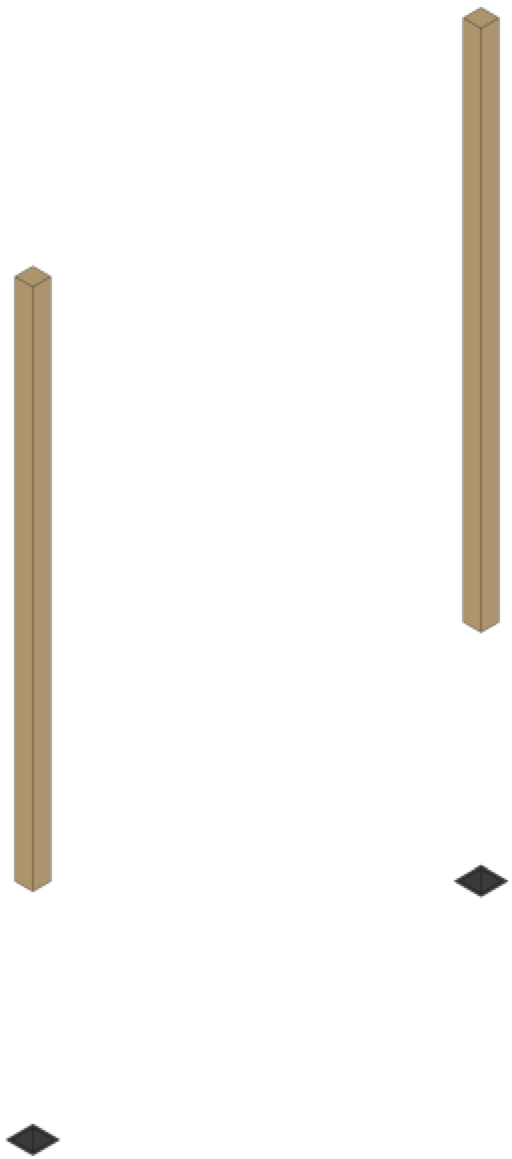
地面から50mm程度
突き出す。
50
400
路盤材（砕石）
+10〜15cm

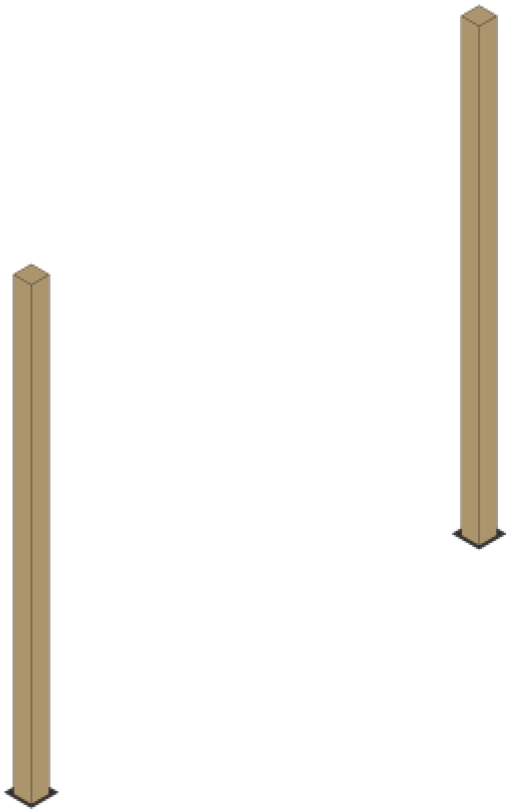


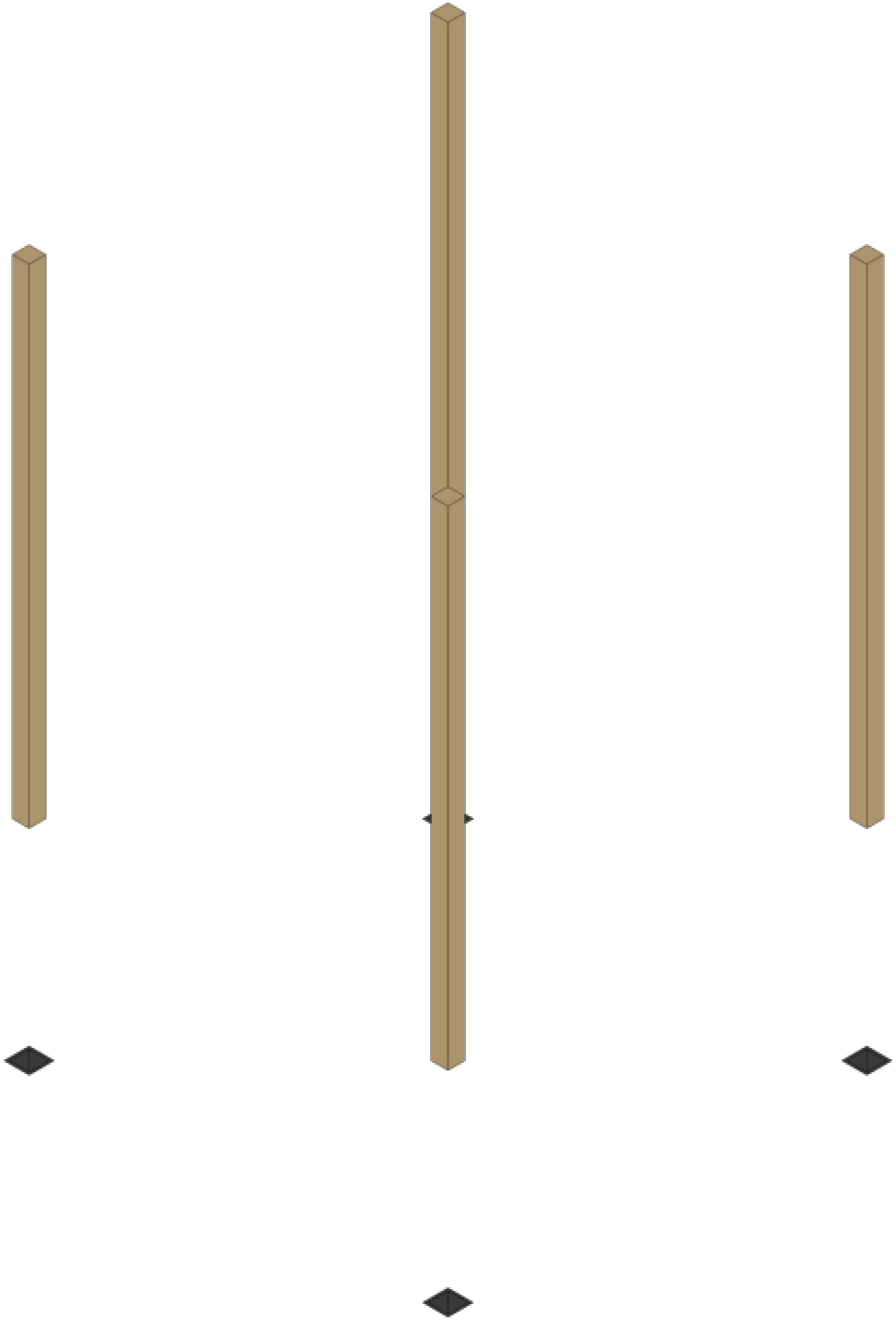
緩く溶いたモルタルを
隙間に流し込む
柱の底に当たるまで
モルタルを詰める
路盤材（砕石）

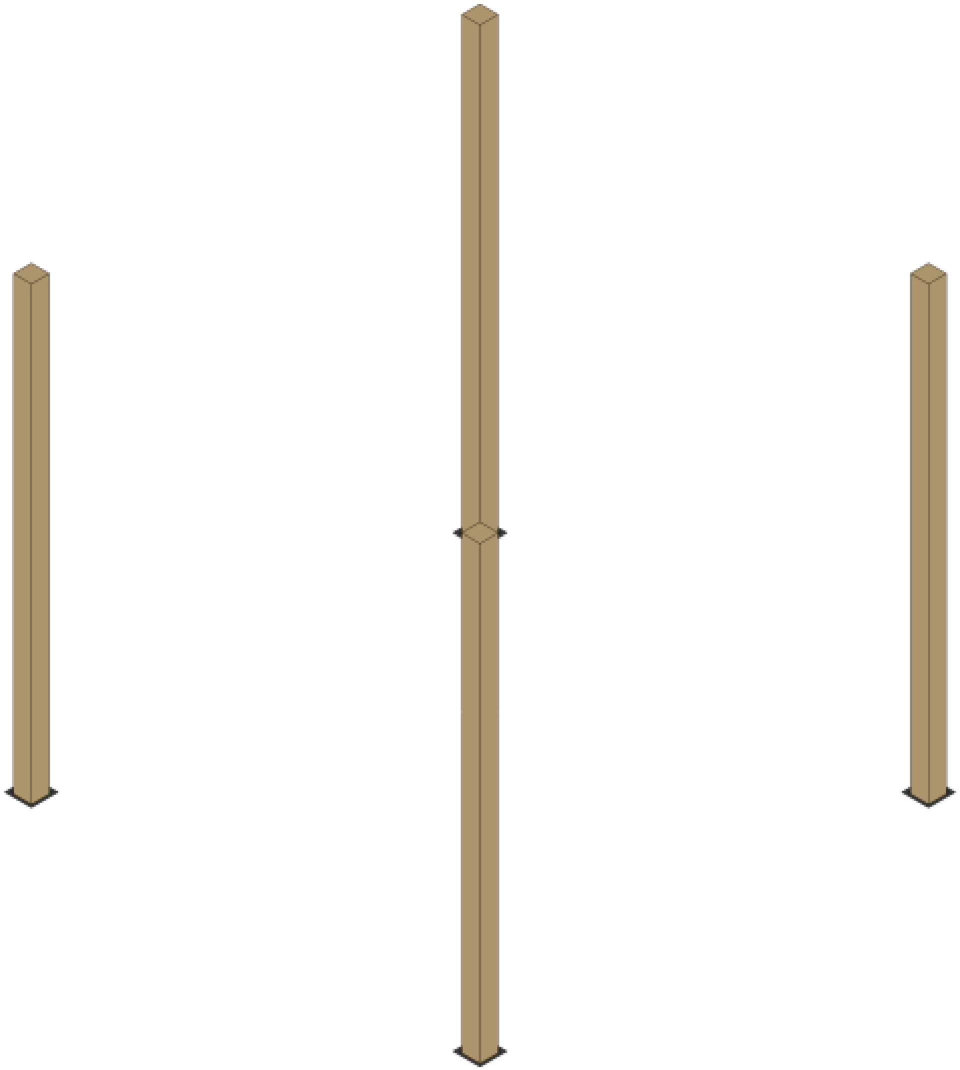


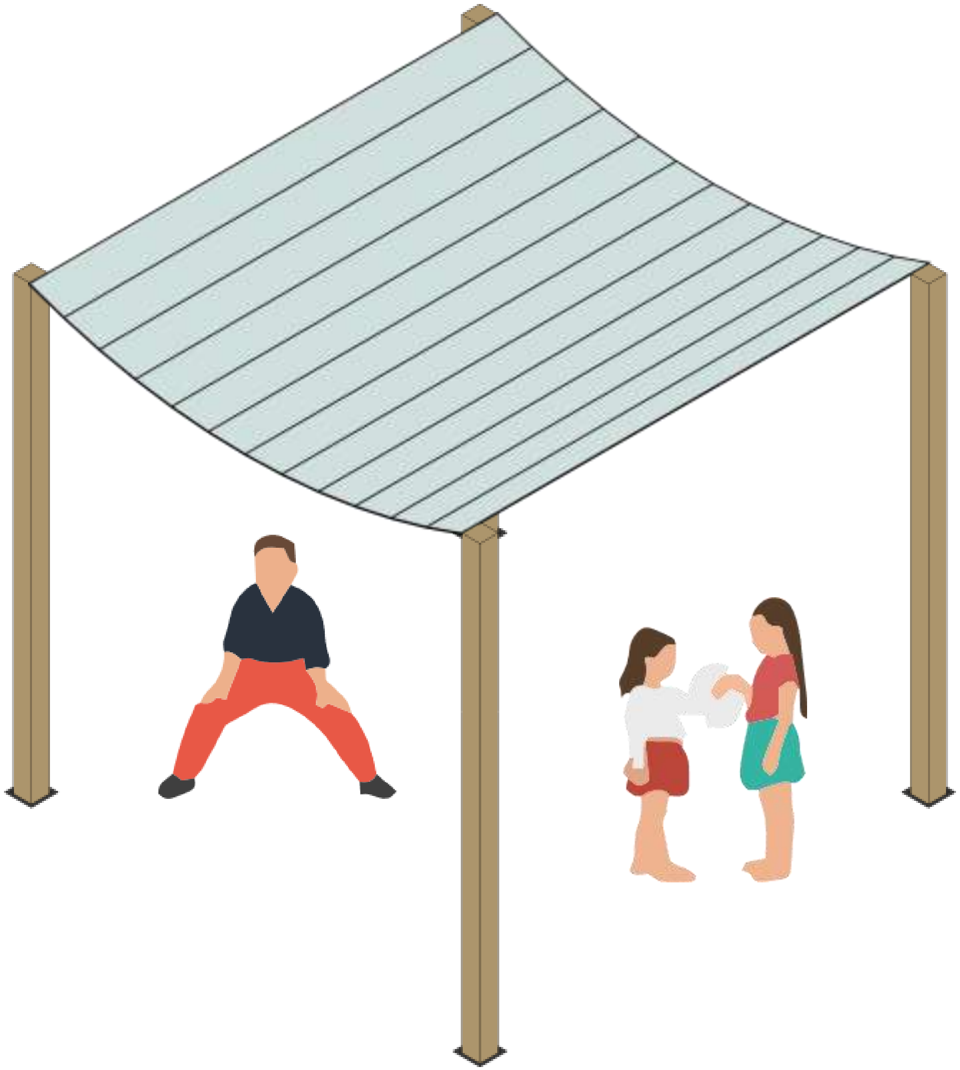


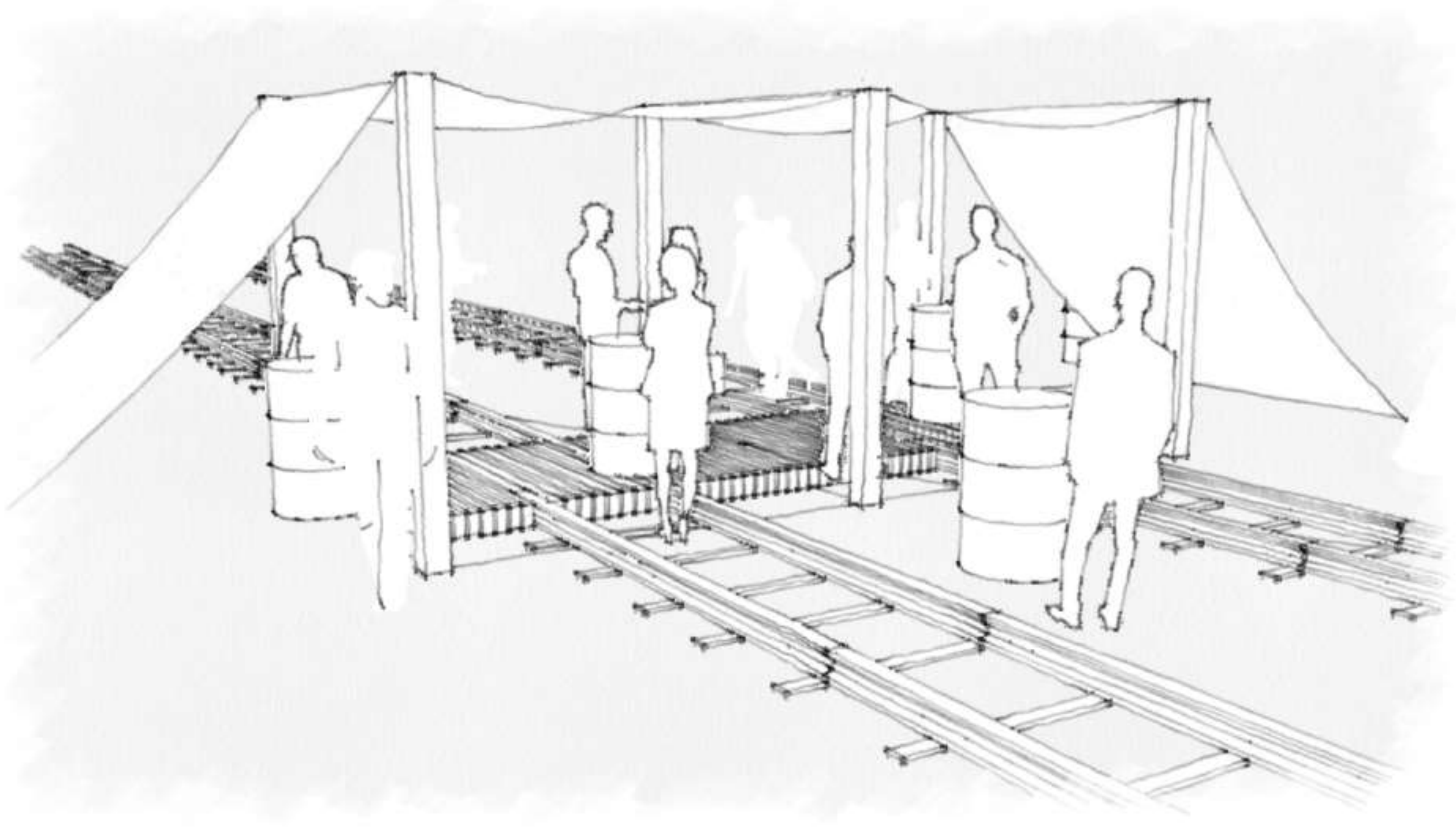












ご静聴ありがとうございました。